令和４年度

大明小学校の教育について（保護者アンケート）集計結果【前期】

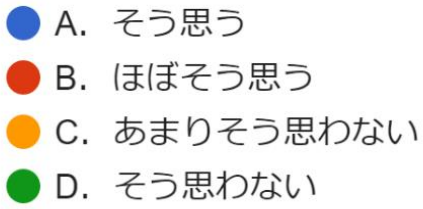
調査対象人数：　家庭数　２２６軒　のうち　２２０軒回答　　９７．３％

調査実施期間：　令和４年７月７日～１５日

各設問ごとの回答結果

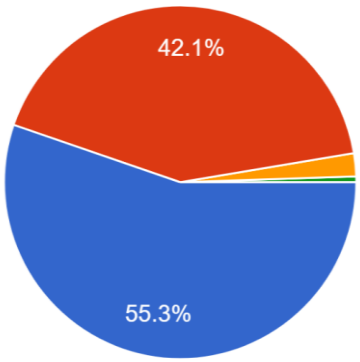
・左側は昨年度後期の結果です。右側が今年度前期の結果です。

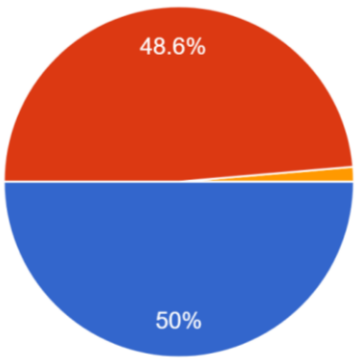
・「A．そう思う」と「B．ほぼそう思う」と回答した人の割合の合計を比較します。



１　学校は，子どものよさや個性を理解し，努力を認めて対応している。

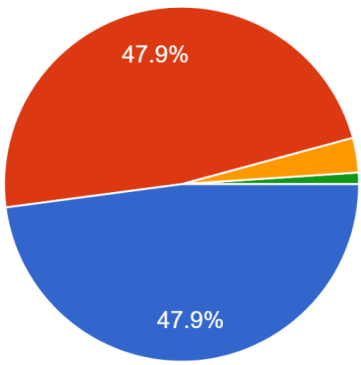
R3後期　９７．４％	⇒	R4前期　９８．６％

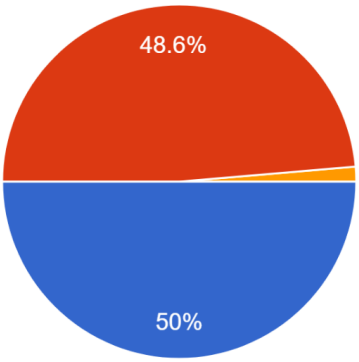




２　学校は，子どもについての悩みや心配事に適切に対応している。

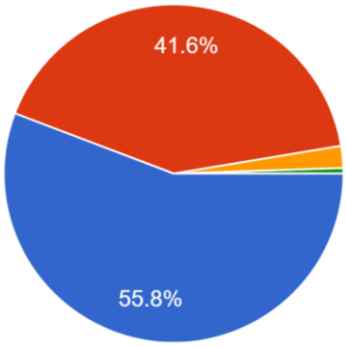
R3後期　９５．８％	⇒	R4前期　９８．６％

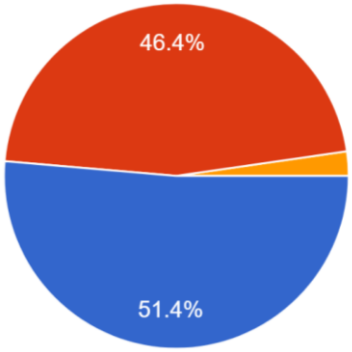




3　学校からの文章や連絡等は適切である。

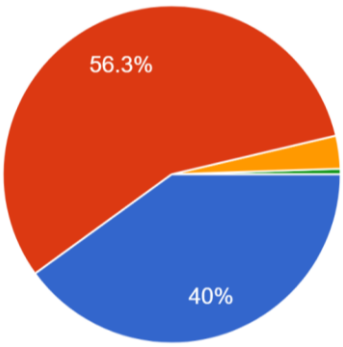
R3後期　９７．４％	⇒	R4前期　９７．８％

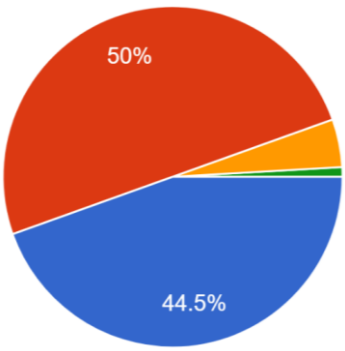




4　学校は，教育活動に適した施設・設備が整っている。

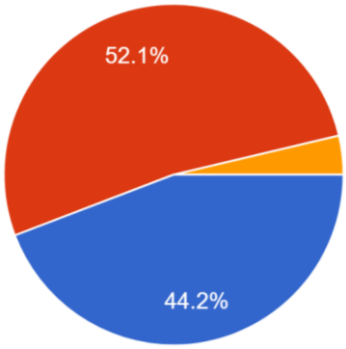
R3後期　９６．３％	⇒	R4前期　９４．５％

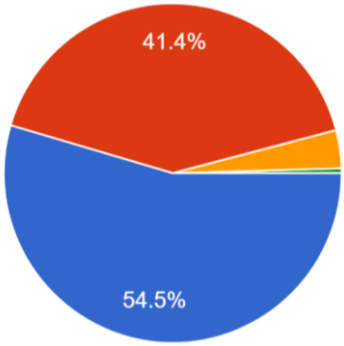




5　学校は，地震・災害・不審者対策をよく示している。

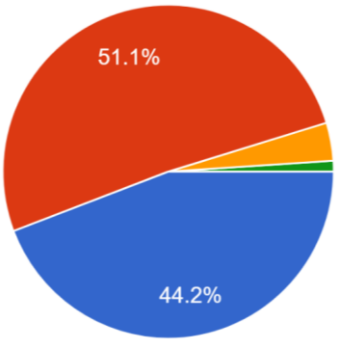
R3後期　９６．３％	⇒	R4前期　９５．９％

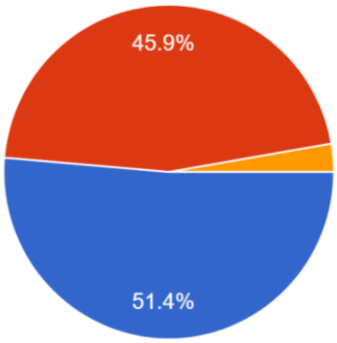




6　学校は，保護者，地域と連携･ 協働して教育活動を行っている。

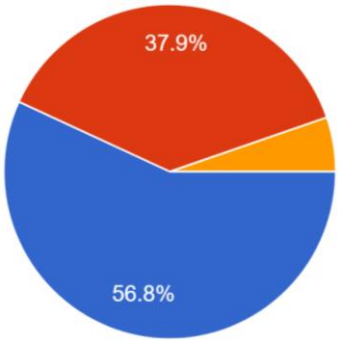
R3後期　９５．３％	⇒	R4前期　９７．３％

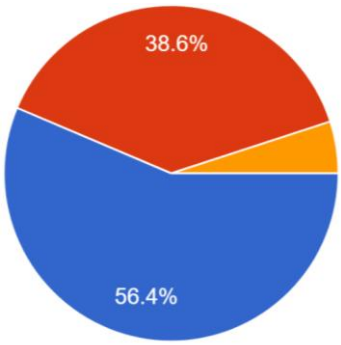




7　子どもは，学校に行くことを楽しみにしている。

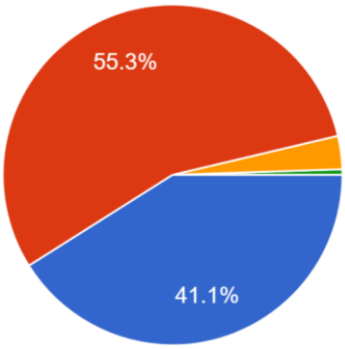
R3後期　９４．７％	⇒	R4前期　９５．０％

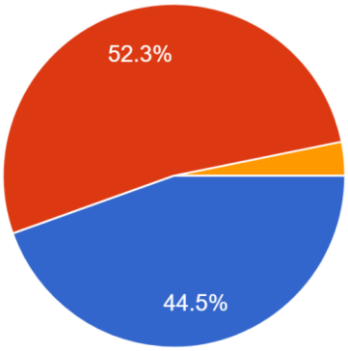




8　子どもは，学校生活の中で，本校具体的行動目標（あいさつができる子ども，進んで学習ができる子ども，きまりが守れる子ども，思いやりがもてる子ども）など，豊かな心，生き方について学んでいる。

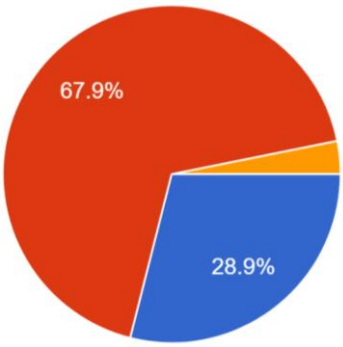
R3後期　９６．４％	⇒	R4前期　９６．８％

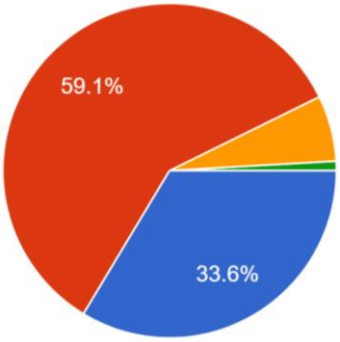




９　子どもは，授業を十分に理解している。

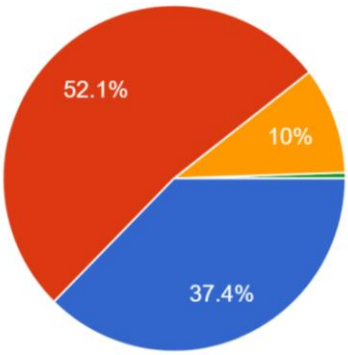
R3後期　９６．８％	⇒	R4前期　９２．７％

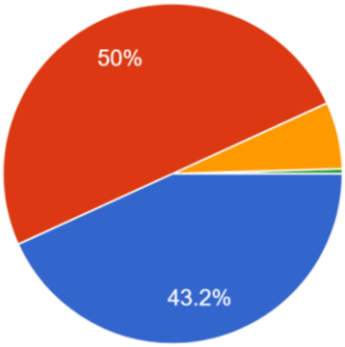




１０　子どもは，「早ね　早起き　朝ごはん」の基本的生活習慣が身についている。

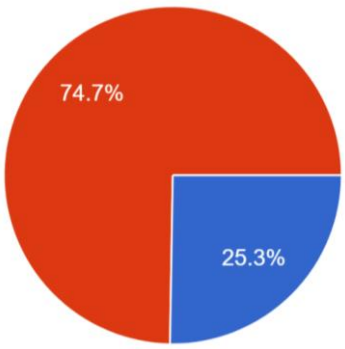
R3後期　８９．５％	⇒	R4前期　９３．２％

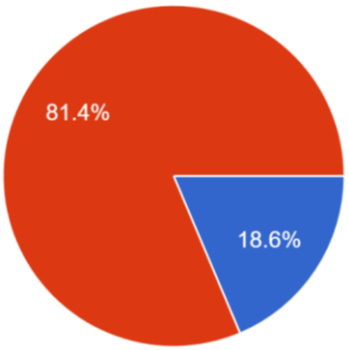




１１　子どもに携帯電話を持たせている。（「持たせている」「持たせていない」で選択）

Ｒ３後期　持たせている７４．７％	⇒	R4前期　持たせている８１．４％

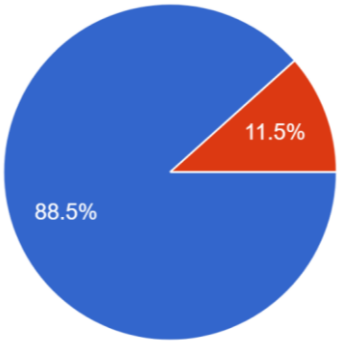


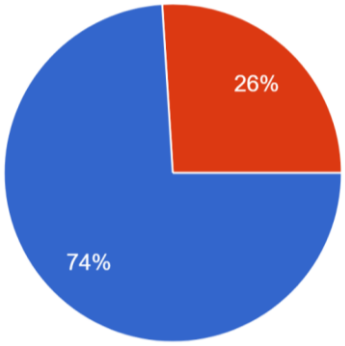


１２　子どもと携帯電話のルール作りをしている。

（携帯電話を持たせている場合のみ回答，「ルール作りをしている」「ルール作りをしていない」で選択）

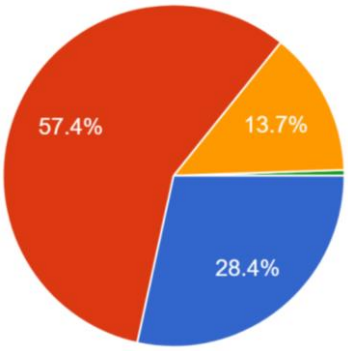
R3後期　ルール作りをしている８８．５％　⇒　R4前期　ルール作りをしている７４．０％

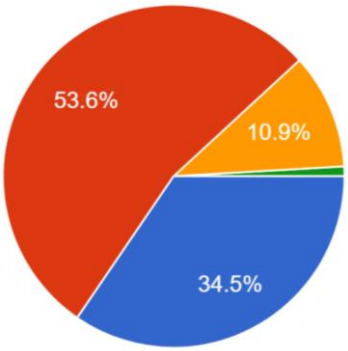




１３　子どもたちは，家庭や地域の中で，あいさつをしている。

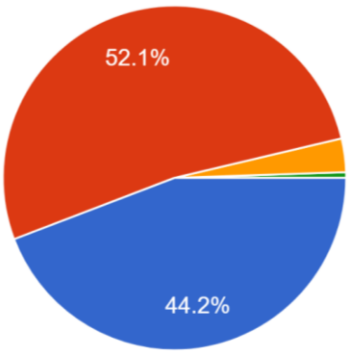
R3後期　８５．８％　⇒　R4前期　８８．１％

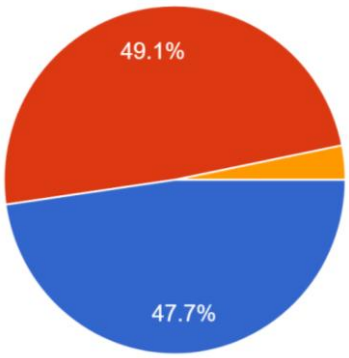




１４　家庭と学校は，連絡や意思の疎通が図られている。

R3後期　９６．３％　⇒　R4前期　９６．８％





１５　各質問項目についてのご意見，日ごろ感じていることがありましたら御記入ください。特にC･Dに○をつけた場合は，改善につなげていきたいと思いますので，改善に生かせるようなご意見がいただければ幸いです。

○毎日ありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。子どもから学校生活の様子をよく聞きます。毎日とても楽しそうで安心しております。家庭でも今後も学校生活を楽しく送ることができるようにしていきたいと思いますので，よろしくおねがいいたします。

○保護者の視点にて先生におかれましてはいつも非常に親身かつ丁寧な対応をお取りいただき安心して学校に通わせることができています。改めて感謝申し上げます。これからもよろしくお願い申し上げます。

○担任の先生には，いつも娘の想いによりそって頂いたり，細かいところまで，ご配慮，ご指導して頂きありがとうございます。感謝しております。今後もよろしくお願いします。

○息子のペースで無理をせずにやっていただいて，よく学校での話もしてくれています。いつも，ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

○授業参観の防犯行動はとても良かったです。入学祝で防犯ベルをもらったので，それの使用方法や使用して知らせるという行動があればよかったです。

○子供に対して，とても親身になって接してくれていて安心しています。 心配事があればしっかり話を聞いてくれて信頼しています。

○いつも細かくお気遣いいただき感謝しています。今後共よろしくお願いいたします。

○個別対応していただく際，いつも丁寧に接していただき，ありがたいです。

○担任の先生は色々と気が付いてくれるのでとても助かります。

▽不審者対策のところでは，学校終了後，学童に行く際，どの学年でもしっかり学童施設まで大人が見届けるべきだと思います。 校庭と学童につながる道や駐車場は，誰でも出入りできてしまい，児童が狙われやすいだろうと思います。 ぜひ，学童につながる門のところで大人が見守っていただくか，学童支援員の方が外で児童を出迎えるなどの対策をとっていただきたいと考えます。 コロナウィルスの爆発的な感染のところでは，レベルが下がったからと言って，メールでの，知らせや学校内の状況，地域の情報を知らせていただきたかったです。そのことにより，さらに密になる学童には行かせないなどの対策がとれたからです。 また，市の判断だからと言って，学校側がそれにすぐに従ってしまうのかと，とても疑問に思います。こんなにも沢山の職員がいらっしゃるのに，誰一人としてメールで校内の状況をこれからも知らせたほうがいいのでは？という考えはなかったのでしょうか？安心安全と言っている割に，行動が伴っていないと感じます。 また，このような事務的なやり方で，果たしてこれからの長い小学校生活で何かあった時に子どもの心に寄り添っていただけているのかと親として不安に感じました。 このような保護者の意見もあると是非共有していただきたいです。

▽いつもお世話になっております。マスクに関してですが，そろそろ外で外すことを強く進めてほしいです。この暑さの中も登下校中マスクを外している子供は見かけません。子供は大人が思う以上にきまりに忠実だと思います。熱中症が心配ですが，市からの新しい生活〜には2メートル以上離れて，と現実には考えられない内容が書いてあり2メートル離れて登校班は無理なため，結局マスクは外せません。マスクを外す，が当たり前，その上でマスクをつける選択をする子供も認める環境を確保してはいかがでしょうか。日傘をさして登下校することで距離の確保，熱中症予防をしている学校もあると聞きます。日傘は暑さ予防に効果が大きいと発表されているので，日傘推奨もご検討ください。 マスクを外せば，心も開き，挨拶もできるようになる気がします。

▽コロナ禍の影響もありますが，親の学校へ関わる機会が少なくて学校の様子がわかりません。評価も1学期のもの限定だと難しいです。9だけDをつけさせてもらいましたが，家で宿題や自主学習をしていますが理解していないのでつけました。授業の善し悪しは自分が聞いていないのでわかりませんが，子供は聞き損ねたところやわからないところを恥ずかしいからか先生方に聞きづらいようです。

▽授業についてですが，子供が分からない所をしっかり質問していればいいですが，質問しにくい気持ちもあるみたいで，算数ですが前にやった問題の解き方などをすっかり忘れていて親がまた教

え直したり，実は全然解き方が分かっていなかったりと家庭での負担があります。もう少し復習の機会を増やしたり，算数が苦手な子には「分からない所ある？」など声かけをしていただきたいです。

▽登下校で会話がなかったり，１人で歩いているのにまだマスクをして歩いています。 もう少し声かけしていただけないでしょうか？ 「コロナだからしょうがない」と何でも中止にせず，何かちがった形で 楽しいことを考えたり，こども達の心を元気にしてほしいです。 教育委員会からの制限もあると思いますが，こども達と制限のあるなかできる事を考えるのは楽しいと思います。

▽4.学校は，教育活動に適した施設･ 設備が整っている。の項目についてですが，先日授業参観へ行った際，体育館の時計が壊れていて，子供に聞いたところずっと壊れていると言っていて，今日も聞きましたがまだ直ってないと教えてくれました。子供達が時間を意識しながら行動する際に，時計は必要ではないでしょうか？早急に修理した方が良いと思います。

▽今現在，学校閉鎖になっていますが，何人中何人がコロナに罹ってしまったかということは教えていただけないのでしょうか。学年別でなくていいので知りたかったです。学校閉鎖後に罹った４年生と２年生と先生の情報はいただきましたがなぜその前の人数だけでも教えていただけないのかなーと。

▽コロナの影響から入学から３年生になるまで他の保護者や学校とのコミュニケーションを図る機会が少なく距離感を感じる日々です。子育ての相談や情報の共有が出来る場にもコロナの事を考えると行くのを躊躇ってしまいます。早く当たり前の日常が戻って来るのを願うばかりです。

▽友達とのトラブルで気になる事は多々あったが特に学校から連絡はなかった。 子供から話を聞いた後だと学校も音声ガイダンスになってしまい確認が取れない。 その場で解決していただいてるのはわかるが，暴力的な事の場合はせめて連絡帳に書いてきて欲しい。

▽書写の日と体育の日が同じ日で，白い服が汚れてしまうので別の日にしていただけたらと思いました。子どもに着替えるように言いましたが，教室で着替える場所もなく…下着になる恥ずかしさもある様子で，仕方なく白い服を着せていかせてます。

▽今年になってプール活動があり気付いたのですが，子どもの足の裏が真っ黒になっていたのにはびっくりした。担任に問い合わせたところ，プールサイドのゴムの劣化と聞いたので，できれば新しくするなど改善していただけたら良いなと思った。

▽子ども本人の集中力の問題ですが，授業参観の時に先生の話をよく集中して聞くことが苦手だなと感じました。学力をつけるには，まず授業中に集中することだと思いますので，なんとか改善できたらなとら思っていますが，なかなか難しいです。

▽学年が上がったので本人に任せる部分も増えていくと思います。それが逆に授業の変更やプールの日程が曖昧になってしまっていてこれでいいのかな？と思う時もあります。本人がしっかり見聞きすれば良いことですが，不安な時もあります。

▽フルタイムで仕事をしている為，急には仕事を休むことが出来ないので，事前に分かっている学校行事などの予定があれば早めに教えて頂きたいです。

▽班替えをする際に，なるべく同じ子とならないようにしてほしいです。苦手な子と続けて同じ班になって，嫌みたいです。

▽に行っていると思いますが，引き続き感染症予防対策と，授業に集中して取り組める環境作りを希望します。

▽体育館の床が滑りやすいと何年も前から聞いていますが，未だに改善されないのは何故ですか⁇

▽子どもたちが主役になるような学校つくりをしていってもらいたいです。

▽不審者対策については具体的な対策内容がよくわからない。

▽完全下校，集団下校をもう少し増やしてほしい。

▽学校施設が少し老朽化していると感じます。

▽学校の様子が分からない。

＝＝＝＝＝全体の考察＝＝＝＝＝

一昨年度よりアンケート回答対象を全世帯とし，保護者の声をより反映するという趣旨のもと，昨年に引き続き，本年度も全家庭を対象として継続した形でアンケートをとった。また，本年度は記名式での回答とし，いただいた御意見や回答内容について，２・３学期の学校運営や教科指導，児童指導等に活かし，アカウンタビリティ（説明責任）を果たしていけるように考えている。さらに，一昨年度ＧＩＧＡスクールの関係で，校内におけるＩＣＴ化が急速に進んだことや，近隣の学校の状況等から判断し，回答方法を「Ｗｅｂ回答」とした。

全体的に例年通りの傾向にあるものの，新型コロナウイルス感染症対策により，授業参観やＰＴＡ活動など実施できなかったことによる保護者と教職員のコミュニケーション不足による不安や心配がアンケート結果や記述式の回答に表れている。

通常の学校生活や行事等による子ども・保護者・教職員のコミュニケーションがいかに大切かを改めて確認できた。２学期に向けて，新型コロナウイルス感染症対策を継続する中でも，子どもたちが安心して学校生活を送り，学習できるように，また，保護者と教職員のコミュニケーションがとれるように，さらにできることを工夫していく必要がある。

【アンケートからの考察】

＝＝＝＝＝設問１～８　学校教育・学校経営・学校運営について＝＝＝＝＝

【設問１・２　児童理解・生徒指導】

子どものよさや個性を理解し，努力を認めているか，また子どもの悩みや心配事に対して適切に回答していると回答した保護者が，どちらも９５％を超えていて，学校での対応に満足していただけていることが分かった。多様性や調和の時代という言葉が聞かれる中，今後もどの子にも光があたるような教育活動を展開していきたい。

【設問３　学校からの連絡等】

アンケートの数値から判断すると，97%という良好な連絡であるとの判断ができる。しかしながら，記述回答の中に，連絡・対応についての御意見をいただき，今後の学校運営の課題として対応していきたいと考えている。「スピードは誠意」であるとの意識をさらにもち，保護者の皆様や地域の方々の期待と信頼に答えていけるように，電話・連絡帳・おたより・学校安心メール・学校ホームページなどの充実をはかり，保護者との連携を推進していきたいと思う。今年度はさらに，緊急連絡やコロナ対応連絡などについては，QRコードを連絡方法の有効

手段として多くの保護者が活用してくださった。また，学校ホームページについては特に保護者の皆様の閲覧が増え，市内２２校の小中学校の中で最も多くの閲覧数となり，コロナ禍における「開かれた学校づくり」が進んだと言える。

【設問４　施設・設備】

・Ｒ４年度入学児童が，６３名で，「２５人学級」の学級編制となり３学級となった。また，特別支援学級も1学級増え，教室が足りない現状だった。市教委との相談や話し合いの中で，既存の多目的教室を2教室に改修することで，無事R4年度を迎えることができた。R5年度の入学生は，現在５２名で３学級になるかが難しいところである。２学級になることも踏まえ，教室環境を有効に利活用していきたい。

・今年は梅雨の期間が例年よりたいへん短く，早期からエアコンの使用を余儀なくされた。また，猛暑により校庭のスプリンクラーや３年ぶりのプールの使用により電気・水道などの光熱費がとても多くかかった。コロナ禍でエアコンを稼働しても換気も必要となるため，今後も効率的な光熱費の使用を考えていきたい。

・各教室前の手洗い場の床が腐食し，昨年中に１８か所のうち腐食した１０か所の修繕を行った。また，今年は１８か所の手洗い場下の戸袋を全て改修し，綺麗になった。

・運動・スポーツ施設なども改修・修繕工事を行なった。体育館北側のバスケットゴール板を2枚とも交換修理した。体育で使用するプールの日除けの支柱も塗り直しをおこなったり，体育館の大型時計の修理や床のワックス掛けなども行なったりした。

・記述式の回答にもあるように学校内の設備や施設が少し老朽化してきているところがあるため，市教委と相談の上，計画的に順次修繕をしていきたい。ペンキの塗り直しや百葉箱の修繕など職員で出来るものは工夫して修繕も行っていくつもりである。

【設問５　地震・災害・不審者対策】

一昨年は，新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から，できなかった訓練もあったが，昨年度から予定していた避難訓練，引渡し訓練，防災訓練などおおむね予定通り実施できた。特に，今年度は，新たに危機管理（防災・防犯）マニュアルの見直し・改善等を進めたり，地域の方々との防災における話し合いなども進めたりして，あらゆる災害や危険から子どもを守れるよう，行政・地域・保護者と連携しながら，計画的に訓練の実施をはかっていきたい。

【設問６　地域との協働】

新学習指導要領の中で，新たに重視するのが「地域と学校との協働」である。地域と学校が

ともに良好な関係にあるように，新たに項目に取り入れている。コロナ禍で活動も制限されることもあるが，無理のない範囲で進めていきたいと考えている。学校ホームページの活用も進み，多くの保護者の方に閲覧していただいている。子どもたちの日々の様子を中心に出来るだけ更新を心がけていくと同時に，必要な情報やコンテンツなどもダウンロード・活用できるように作成していきたい。

【設問７・８　学校が楽しい・学校教育目標】

「学校が楽しい」と肯定的回答が約９５％に達しているが，否定的な回答も若干ある。毎年定期的に実施する「楽しい学校生活を送るためのアンケート（Ｑ－Ｕテスト)」の結果も参考にしながら，学級担任を中心に連携して学校全体で組織的に対応する。特に，いじめや不登校などに繋がるような事案には，「早期発見・早期対応・再発防止」をキーワードに，どの子にとっても満足して活動し，下校できるような教育活動や指導を目指して努力していきたい。

＝＝＝＝＝設問９～１４　子どもの様子・家庭と学校の連携の様子について＝＝＝＝＝＝

【設問９　学習理解】

授業を十分に理解していると回答している保護者が約９３％を占め，かなり高い数値を示している。しかし，昨年度後期との比較では約４％ほど減少している。コロナウイルスの影響による学級閉鎖や全校閉鎖など臨時休業がある中で，まずは学習の定着を図るべく各学年・学級で取り組んできたが，記述式の回答にもあるように，今まで以上に子どもたちの様子をしっかり確認しながら「確かな学力」の定着に向けての授業づくりを進めていきたいと考えている。

保護者の皆様にも，授業の進め方やお子さんの様子について，気付いた点などは担任にお伝えいただき，教職員の指導力向上につなげていきたいと考えている。今後も家庭，保護者の理解を得ながら，子どもたちの確かな学力の定着に向け，全教職員で取り組んでいきたい。

【設問10　早寝・早起き・朝ごはん】

昨年度は全アンケート項目の中で，最も肯定的な回答が低くなったが，Ｒ４年度前期は約4%程度改善した。この項目は家庭生活における基本的な生活習慣が大きく関わっていると思うが，新学期になり新たな決まりや約束事などを家庭の中でしっかり進めてくださった成果だと感じている。学校では，啓発活動を中心として，子どもたちの健康的な生活習慣作りを進めていきたい。

【設問11　携帯電話】

・ 学校への携帯電話持ち込みについての文部科学省有識者会議の結果（令和２年８月通達）小学校では今までと変わらず原則持ち込み禁止となっている。

・ 必要がない場合に，安易に持たせないよう御家庭で努力していただいているのがありがたい。

・ 昨年度，高学年を中心にオンラインゲームやＳＮＳにおけるトラブルがあった。学校から帰ってからのトラブルではあるものの学校として正しいスマホやSNS の使用についての指導を行なった。また昨年度は６年生とその保護者を対象として県教委の方に来て講話をしていただいたが，今年度はdocomoショップの方に来ていただき，授業参観で防犯教室を行なった。

【設問12　携帯電話のルール】　（４１回答）

・ ７4%の御家庭で携帯電話等に関するルールやきまり，やくそくなどを作っているという回答があり，全体の４分の３であった。昨年度と比較しても約１５％の低下となり，家庭で未だルール等が決まっていないとの回答があったため，携帯電話等も持たせる以上は約束やルールはしっかり早急に家庭で決めていただけるように，引き続き呼びかけなどを行っていく。

・ 子どもを中心として，ネットトラブル等に巻き込まれた事例も多数あるので，御家庭でお子さんと相談のうえ，しっかりとルールやきまり，やくそくなどを決めてほしい。

【設問13　子どものあいさつ】

・ 例年「あいさつ」が大明小としての課題となっていたが，数値だけを見ると改善傾向にあるといえる。その要因として，校長を中心に，児童会本部でも「あいさつ」を重視し元気にあいさつできる取り組みを行っている。しかし，学校ではあいさつできるが，地域ではできていないと言う声も聞かれる。あいさつは，する側が自分の心を開く行為なので，される側があいさつを返さないと不安になり，「こっちが心を開いているのに，相手は心を開かなかった。」となり，不愉快に感じることにつながる。目も合わせない，反応もない，無視したとなると，不愉快を超えて心配になる。

①なぜ，あの子はあいさつできなかったのか（心を開くことができなかったのか），その子の背景に何があるのかを考えてみる必要がある。

②あいさつすると何がよいのかを子どもに実感させる。あいさつできる子は，人間関係でとても得をしていることを理解させる。

③みんながしないから自分もしないというだけの子もいるので，みんながあいさつできる雰囲気を粘り強く作っていく。

④あいさつができる子は，授業中の発言が活発であり，学力向上にもつながる傾向がある。

家庭・地域・学校がそれぞれ行うのでなく，連携して行う必要がある。ＰＴＡ活動での御理解・御協力をいただけるとありがたい。

【設問14　連絡や意思の疎通】

設問３とも関わっているが，昨年度同様９６％を超える肯定意見を得ることができ，学校と家庭との連携・協力体制が構築できていると言える。記述回答に書いてある内容も考慮しながら，さらに一層の連絡・意思疎通をはかっていき，さらに一層信頼される学校づくりを進めていきたい。